

44巻
2号

農村計画学会誌

土のこえ “適疎” から始まる食と環境の学び

おのずからなる形にせまる 68

特集 縮減期に問う、農村空間の意義とデザイン

解題 東口阿希子・山本忠男・菊池義浩 70

特集論考

“多様と分散”の土地利用による小規模分散型社会の実現 武山絵美 72

農空間におけるライフスタイルからよむ景観保全の動態的持続性 阿久井康平 76

少人数社会における地域の持続性の展望 佐久間康富 80

少人数社会での住み継ぎのあり方 岡田知子 84

都市と農村をつなぐ二次的草原の協働管理

ー阿蘇の野焼き支援ボランティアを事例にー 町田怜子 88

テロワールから読み解く土地の歴史的・文化的価値

ー生産と消費をつなぐナラティブな方法ー 赤松加寿江 92

特集活動報告

適疎というまちづくりの姿勢

ー北海道東川町における適疎まちづくりのプロセスー 小篠隆生 97

フードスケープの更新 正田智樹 100

東南アジアの農村と農村空間から学ぶ

ーあいまいさが示す「地方消滅」後の未来ー 生方史数 102

連載

能登半島地震が突きつける農村計画学の課題 第4回

災害範囲予測とエコロジカル・プランニングによる環境評価の違い 上原三知 104

活動報告

農村計画セミナー報告

農村未来塾「空き家・空き地を蘇らせまちむらの再生を」..... 斎尾直子 105

オンラインジャーナル「農村計画学会論文集」掲載論文・報告のご紹介 106

本会記事・・・107

色頁会告 2025 年度農村計画学会全国大会について（第3報）／投稿規程の改定について

ISSN 0912-9731

2025.9

農村計画学会

ARP
JOURNAL OF RURAL PLANNING